

第七十回 帝國議會 貴族院 海外移住組合聯合會ニ對スル政府 特別委員會會議事速記録第一號
貨付金ノ出資等ニ關スル法律案

付託議案

海外移住組合聯合會ニ對スル政府貸付金ノ出資等ニ關スル法律案

委員氏名

委員長	公爵島津 忠承君
副委員長	子爵保科 正昭君
	子爵白川 資長君
	男爵松岡 均平君
	男爵松田 正之君
	各務 鎌吉君
	平沼 亮三君
	岩崎 清行君
	大谷 尊由君

昭和十二年三月三十日(火曜日)午後三時三十九分開會

○委員長(公爵島津忠承君) ソレデハ是ヨリ開會致シマス、最初ニ大臣ノ御説明ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(結城豊太郎君) 海外移住組合聯合會ニ對スル政府貸付金ノ出資等ニ關スル法律案ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、本法律案ノ目的トスル所ハ、海外移住組合聯合會ガ現在行ッテ居リマス移住地ノ經營

事業ヲ承繼シ、一層移住ノ獎勵ヲ圖ル爲ニ新シク株式會社ヲ設立致シマシテ、之ニ對シ政府ガ從來聯合會ニ貸付ケテ居リマシタ元利金ノ内七百二十五萬圓ノ債權ヲ現物出資セシムルニアルノデアリマス、海外移住組合聯合會ハ、昭和二年海外移住組合法ニ基キ設立セラレタモノデアリマシテ、南米「ブラジル」ニ約二十一萬町歩ノ土地ヲ購入シ、之ヲ分讓シマシテ自作農創定事業ヲ行ッテ居ルノデアリマスガ、事業開始以來既ニ九年ヲ經過シ、其ノ移住地ニ入植シマシタ家族數モ約三千、人口ニシテ約二萬ニ達シマシテ、移住者ノ經濟狀態ガ良好デアアルノミデナク、土地代金ノ回收、各種福利施設ノ充實等、移住地ノ管理ニ付キマシテモ、頗ル良好ナ成績ヲ示シテ居ルノデアリマス、斯カル事業ハ申ス迄モナク相當多額ノ資金ガ必要デアリマスノデ、政府ハ聯合會ガ移住地ニ於キマシテ土地ヲ購入區劃シ、分讓致スコトニ要スル費用ヲ昭和二年度以降毎年貸付ケマシテ、現在マデニ其ノ總額ハ約七百五十萬圓トナツテ居リマシテ、既ニ償還致シマシタ金額及昭和十一年度ニ償還スベキ豫定ノ約五十七萬圓ヲ差引キ

マスト、政府ノ聯合會ニ貸付ケテ居リマス元利金額ハ約七百二十五萬圓トナルノデアリマス、而シテ此ノ借入金ハ今後政府ニ對シ償還セネバナラスモノデアリマスルガ、之ヲ償還シテシマヘバ自作農創定ノ事業モ一應終末ヲ見ル譯デアリマス、然ルニ聯合會事業ノ如ク良好ナル成績ヲ舉ゲテ來マシタモノヲ、此ノ儘終ラセテシマフト云フコトハ誠ニ遺憾ニ思フノデアリマシテ、斯カル事業ハ今後益々擴大シ恆久的ノモノトシテ、移住地ノ經營ニ當ラシメルコトガ極メテ必要ト考ヘルノデアリマス、ノミナラズ移住者ノ増加ト其ノ經濟的發展ニ伴ヒマシテ、其ノ生産物ノ加工販賣並ニ金融等ノ必要ガ増大シテ來タノデアリマスガ、現在此ノ要望ニ應ズベキ適當ナ機關ヲ缺ク爲メ、茲ニ移住者ノ經濟的活動ノ中心勢力トナリ、其ノ發展ヲ後援指導スベキ機關ノ必要ガ痛感セラレテ居ルノデアリマス、是等ノ事情ヲ考慮致シマシテ、先程申上ゲマシタ聯合會ニ對スル政府貸付元利金七百二十五萬圓ノ債權ヲ現物出資トシ、民間ヨリハ二百七十五萬圓ノ株式ヲ募集シマシテ、新シク資本金一千萬圓ノ株式會社ヲ設立シ、此ノ會

社ヲシテ移住地ノ要望ニ應ゼシメルノミナラズ、益々廣ク南米ニ對スル移住獎勵ニ資セシムルコトヲ緊要ト考ヘタ次第デアリマス、唯此ノ會社ハ單ニ國內ノモノデアリマシテ、南米ニ於テ事業ヲ行ヒマス、事業主體ニハ、從來通り事業地國ノ法律ニ依ッテ設立セラレマシタ法人ヲ以テ充テサセルノデアリマシテ、從ッテ移住地ノ事業主體ニハ何等ノ變更ヲ加ヘナイノデアリマス、又本會社ガ前述ノ通り公益的的使命ヲ有スルモノデアリマスカラ、政府ノ必要ナル監督ヲ受ケルコトト致シ、又移住地經營事業ノ性質ニ鑑ミマシテ、政府所有ノ株式ニ對シテハ配當上劣後的取扱ヲ致スコトト致シタノデアリマス、何卒宜シク御審議下サラムコトヲ御願ヒ申上ゲマス

○大谷尊由君 御尋ネ致シテモ宜シウゴザイマスカ

○委員長(公爵島津忠承君) ドウゾ……

○大谷尊由君 此ノ「ブラジル」ノ海外移住ハ、今我が國各地ニ移住シテ居リマスモノノ中デ、「ブラジル」ガ一番纏ッタ場所ニ、而モ多數ノ日本人ガ移住致シマシテ、而モ此ノ聯合會ノ成績ハ近年極メテ良好デアアル

戴イテ承リタイ

○委員長(公爵島津忠承君) 速記ヲ止メテ

……

〔速記中止〕

○委員長(公爵島津忠承君) 速記ヲ始メテ

……

○政府委員(岡本孝正君) 御承知ノ通りニ

從來「ブラジル」ニハ、日本移民ガ多イ時ニハ一年ニ二萬人以上上モ入ッテ居リマシテ、ソレガ千九百三十四年ニ新憲法ガ出來マシテ、移民法ノ施行ニナリマス迄ノ暫定的ノ措置ト致シマシテ、諸外國ニ對スル移民割當制ヲ定メルコトニナリマシタ、日本ノ移民ニ付キマシテハ、年ニ二千八百四十九名ト云フコトニ極ッタノデゴザイマス、二萬人餘リ入ッテ居リマシタガ、忽ニ三千人以下ニ限定セラレタ譯デアリマス、其ノ後昨年ノ四月ニ勞働者ノ指令ヲ以テ、改メテ此ノ割當算定ノ基礎ヲ、幾分日本側ニ好意的ニ考ヘテ貰フコトニナリマシテ、即チ割當算定ノ基準ヲ當該年度ノ前年カラ遡リマシテ、五十年間「ブラジル」ニ入國シマシタ移民總數ノ二分ト云フコトニシマシテ、且移民ノ十

四歳未満ノ子供ハ割當カラ除外スルト云フコトヲ規定シマシタ結果、日本移民ノ割當ハ三千四百八十名ニ増加致シマシタ、

之ニ今申シマシタ割當外ノ十四歳未満ノ者ヲ加算致シマス、毎年約五千名クラキハ移民ヲ送ルコトガ出來ルコトニナッタノデゴザイマス、「ブラジル」ニ於キマシテハ、從來トモ非常ニ執拗ナ排日運動ガ行レテ居リマシテ、此ノ排日運動ヲシテ居リマス團體ガ極力色々妨害ヲスル譯デゴザイマシテ、其ノ情況ハ今デモ變リハゴザイマセス、但シ一方ニ於キマシテ、斯クノ如ク各國ニ對スル移民ノ割當ヲ極メマシタ結果、實際ニ於テ國內ニ勞働力ガ非常ニ不足致シマシテ、殊ニ「サンパウロ」州ノ如キハ、外國ノ移民ガ入ラナケレバ、十分ニ農業ヲヤッテ行クコトガ出來ナイト云フ情況デゴザイマス

ノデ、今度ハ反對ニ今申シタ千九百三十四年ノ憲法ニ依ッテ、移民ヲ二分ニ制限シタト云フコトハ亂暴ナ措置デアッタ、寧ロ當時議會ニ於ケル審議ニ於テ、十分ニ研究セズニ不用意ノ間ニ極メラレタノダト云フヤウナ意見モ行ハレルヤウニナリマシテ、只今移民法ヲ議會ニ懸ケテ審議中デゴザイマスガ、其ノ移民法ニ依リマシテハ、此ノ二分制限以外ノ例ト致シマシテ、各州デ移民ヲ更ニ「クオート」以外ニ入レヨウト云フ議論ガアルノデゴザイマス、之ニ對シマシテハ勞働局デ拵ヘマシタ原案ニ對シテ、「サンパウ

ロ」州デ更ニソレヲ修正致シマシテ、最近ニ大統領ノ手許カラ議會ニ廻サレテ居リマス、之ニ依リマスト初ハ、歐洲各國カラノ移民ニ付テサウ云フ例外ヲ設ケルト云フ規定ニナッテ居リマシタノヲ、日本ノ大使、ソレカラ「サンパウロ」ニ行ッテ居リマス總領事ガ大變盡力シマシタ結果、サウ云フ日本ダケヲ差別スルヤウナ規定ヲ除キマシテ、日本ニモ矢張り其ノ例外規定ニ依ッテ、サウ云フ例外的ニ入ル一定ノ數ヲ認メテ貰フト云フコトニナリツ、アルノデゴザイマス、更ニ「ブラジル」トノ關係ニ於キマシテハ、從來移民ヲ送ルト云フダケノ關係デゴザイマシテ、通商關係ノ如キモ從來ハ極ク微々タルモノデアリマシテ、三年前マデハ僅カニ五六百萬圓ガ貿易ノ總額デアッタノデアリマス、ドウシテモ斯ウ云フヤウナ情況デハ、日伯ノ將來百年ノ計ヲ考ヘマス上ニ於テイケナイ、ドウシテモ是ハ移民關係ダケデナシニ、經濟關係、通商關係ト云フ方カラモ、兩國ノ關係ヲ密接ニシテ置カナケレバイケナイノダト云フヤウニ、段々日本側モ考ヲ及シマシテ、其ノ結果平生前文部大臣ノ團長ニナッテ御出デニナリマシタ經濟使節ガ向フニ御出デニナリ、又向フカラモ昨年ソレノ御返シトシテ、有力ナル經濟使節

ト云フコトヲ聞イテ、誠ニ私ハ力強ク喜ンデ居ル次第デアリマスガ、併シナガラ動モ致シマス、
「ブラジル」ノ國ノ政情ト云フモノガ果シテ日本ニ對シテ好意ヲ持ッテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、此ノ國ガ決シテ日本ヲ排斥スルモノデナイ、斯ウ自分デハ思ッテ居リマススケレドモ、新聞紙ナドニ現レテ居リマス所デハ、屢、日本ニ對シテ移民ノ制限ヲ行フトカ、又過去十年以上前マデハ「ブラジル」ノ國ハ、東洋人ヲ以テ劣等國民デアルト云フコトヲ言ッテ居ッタ國柄デアリマスカラ、多クノ我ガ國ノ人達ニハ「ブラジル」ノ政情ガ、或ハ日本人ヲ排斥スルヤウナコトハナイカト云フヤウナ心配、危惧ヲ今尙持ッテ居ル人ガアルカモ知レナイト思フノデアリマス、之ニ付キマシテ日本ト「ブラジル」ノ關係ガ、ドウ云フ工合ニ最近ハナッテ居ルカ、又「ブラジル」ノ法律デ日本ノ移民ヲドウ云フ工合ニ扱ッテ居ルカ、此ノ點ヲ一ツ外務當局ノ然ルベキ御方カラ、御説明ヲ願ッタナラバ好都合ト存ジマスカラ……外務省ノ方ガ見エマシテカラ私御答辯ヲ承リマシテ宜シウゴザイマス

○男爵松岡均平君 今外務當局ガ御見エニナル間ダケチヨット時間ヲ拜借シテ申上ゲタイト思ヒマス、懇談會デ筆記ヲ停止シテ

……

……

團ノ一行が見エマシタガ、是ハコチラカラ

モ招待シタノデアリマスガ、サウ云フコトヲ致シマシタ結果、昨年度ハ急ニ貿易額モ増シマシテ、輸入ダケデモ、是ハ主トシテ「ブラジル」産ノ棉花ヲ輸入スル譯デアリマスガ、約二十五萬俵、金高ニ致シマシテ五十萬圓近クノモノヲ昨年一年ダケデモ買ヒマシタ、兩國ノ貿易關係ノ如キモ急激ニ増加シタノデアリマス、而モ棉ハ約五割マデハ日本人ガ「ブラジル」ニ行ッテ作ッテ居ルノデアリマス、有ラユル關係カラ見マシテ非常ニ結構ナコトト思ッテ居リマス、サウ云フ關係ガ自然ニ反映致シマシテ、日伯ノ一般的ノ親善關係ナリ、又ソレガ延イテ移民關係ニ及ス影響ガ頗ル良イモノガアルドラウト云フヤウニ我々ハ考ヘテ居リマス、現ニ團長トシテ參ラレマシタ「サルガード」ト云フ方ハ、元ノ勞働商工大臣デアリマスガ、歸ラレマシテカラハ、新移民法ノ制定ニ付キマシテ非常ニ盡力ヲシテ居ラレルヤウデゴザイマシテ、新聞ニモ段々現レルノデアリマスガ、今ノ現狀ニ於キマシテハ、大體今御話申上ゲマシタ通りデアリマシテ、是マデ全然自由ニ數ヲ限ラズニ、二萬人餘モ一年ニ入りマシタ情況ガ一轉シテ、三千人以下ニナリマシテカラ、ソレガ段々又殖エテ

來テ、日本側ニ對シテ幾分良イヤウナ空氣ガ今出來ツ、アル、殊ニ新シイ移民法デモ出來マシタナラバ、日本ノ移民ノ行ケル數ガ相當増スノデヤナイカ、斯ウ云フ期待ヲ以テ其ノ結果ヲ待ッテ居ル次第デアリマス

○大谷尊由君 今外務ノ當局ノ御話ヲ承リマシテ、大變私安心致シマシテゴザイマス、元ノ懇談會ニ返シテ戴キマス

○委員長(公爵島津忠承君) 大臣ガチョット御都合他ノ方ニ行カレルサウデアリマスガ……

○男爵松岡均平君 ソレデハ速記ヲ中止シテ下サイ

○委員長(公爵島津忠承君) 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(公爵島津忠承君) 速記ヲ始メテ……

○大谷尊由君 此ノ「ブラジル」在住ノ日本人ニ對シテ完全ナ金融機關ガアリマセス、又貯蓄スルノニモ銀行ガナイト云フヤウナ關係ヲ考慮致シマス、今度ノ此ノ會社ガドノ位ナ程度ニ於テ、在住日本人ノ金融ニ對スル便宜ヲ御諮リデアリマス、又組合員以外ノ者ニ對シテモ、金融ノ御世話ヲ爲サルノデアリマス、其ノ邊ヲ御答辯願ヒタ

イト存ジマス

○政府委員(岡本季正君) 御答ヘ致シマス、是マデ「ブラジル」ノ在住同胞ノ間ニ金融機關ガナカッタト云フノハ事實デゴザイマシテ、今度ノ會社ヲ設立致シマス目的ノ一ツハ其ノ點モ含マレテ居ルノデゴザイマシテ、是マデノヤウニ移住組合ト云フモノデゴザイマスルト、金融ノ便宜マデモ圖ルコトガ出來ナカッタノデゴザイマスガ、今度會社ニナリマスレバ、會社ノ事業ノ一ツト致シマシテ在住同胞ニ金融上ノ便宜ヲ圖ルト云フコトニナル次第デゴザイマシテ、此ノ點ニ於キマシテ外務省ト致シマシテハ、廣ク一般在伯ノ邦人ニ其ノ利益ヲ均霑サセルヤウニシタイト云フ希望ヲ以チマシテ、拓務省トモ協議ヲ遂ゲテ居ル次第デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○大谷尊由君 次ニ拓務次官ニ御伺ヒ致シマスガ、此ノ半官半民ノ如キ會社ガ出來マスト云フ場合、昨年ノ議會ニモ南洋ニハ南洋拓殖會社ガ出來ルトカ、朝鮮ニハ朝鮮ノ半官半民ノ會社ガ出來ル、臺灣ニモ半官半民ノ會社ガ出來ル、サウ云フヤウナ會社ガ澤山出來テ來テ、サウシテ必ズシモ政府ノ役人ガ其處ノ重役ニナッテズット入ラレルト云フヤウナ嫌ヒガアルノデ、此ノ點ハ十分

注意シテ、決シテ役人ノ隱居所トスルヤウナコトハセスト、斯ウ云フ御言明ガ前議會デアッタノデアリマスガ、然ルニ矢張り會社ガ出來上ッテ見マスト、其ノ重役ガ中心ニナルト云ヒマス、凡ソ東北ノ會社ニ致シマシテモ半官半民ノ會社ガ出來マスト、隨分ソレ等ニ對シテ官吏ガゾロ／＼トオ入りニナルノガ多イノデスガ、今度出來マス此ノ海外移住組合聯合會ヲ、新ラシイ半官半民ノヤウナ會社ヲ變ヘニナルニ當ッテ、重役ノ選任ト云フコトニ付テハ、ドウカ極メテ公平ニ而モ經驗ノアル立派ナ人カラ之ヲ選任シテ戴キタイト云フコトヲ、私ハ茲ニ希望致シマスノデスガ、其ノ御所見ヲ承ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(入江海平君) 只今ノ御説ニ全く同感デアリマス、拓務省トシマシテハ、從來カラ假ニサウ云フ弊害ガアッタトシマスルト、サウ云フ弊害ヲ再ビ繰返サナイヤウニト云フコトヲ非常ニ注意致シマシテ、南洋拓殖會社、臺灣拓殖會社ヲ作りマス時ニモ、其ノ點ニ最モ注意ヲ拂ヒマシテ、現ニ拓務省ガ選定シテ居リマスル臺灣拓殖ノ社長ニシマシテモ、南洋拓殖ノ社長ニ致シマシテモ、民間ニ於テ十分、經驗ノアル、其ノ方面ノ知識ノ豊富ニアル方ヲ選定シテ

居ルヤウナコトデアリマシテ、役人トシテ一二入ッテ居リマスノハ、是ハ斯ウ云フ事業ヲヤリマスニハ、矢張り政府ノ方ノ役人デアッテ、サウシテ南洋方面ノ仕事ニ從來携ハッテ居ッタク云フコトデ、會社ガ其ノ人間ヲ採ルコトガ、會社ノ爲ニ非常ニ都合ガ宜シイト云フ者ニ限ッテ、其ノ社長ノ懇望ニ依ッテ入レタノガアルダケデアリマシテ、拓務省トシマシテハ其ノ點ハ御説ノヤウニ、海外ニ於ケル仕事ニ若シ其ノ人ガ宜シキヲ得ナイ時ニハ、事業ハ全ク根柢力カラ覆ヘサレマスモノデスカラ、十分注意ヲ致シテ居リマス、尙今後ニ於キマシテモ一層注意致シタイト思ヒマス

○大谷尊由君 南洋拓殖トカ、臺灣拓殖トカ云フ方面ハ只今承リマシタ通りデアリマシテ、私共安心ヲシテ居リマルガ、ドウカ此ノ會社モ、サウ云フヤウニシテ戴ケレバ結構ト存ジマス、ドウカ致シマストサウデナシニ、東北トカ、朝鮮トカ、滿洲トカ云フ方ノ會社ニナルト、動モスルトサウ云フ批評ヲ受ケルコトガ屢、ゴザイマスノデ、ソレデ斯ウ云フコトヲ申シテ希望ヲ言フテ置クノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ新シク出来マス會社ノ名稱デゴザイマス、是ハドウ云フ名稱ヲ御附ケニナルカ、大方ノ御腹

案ガアリマスレバ御示シ下サレバ結構ト存ジマス

○政府委員(入江海平君) 實ハマダ腹案ト云フ程ノモノモナイノデゴザイマス、是ハ餘程注意シテ附ケマセスト、名前ト云フモノハ往々ニシテ誤解ヲ招ク因ニナリマスカラ、此ノ點ハ愈々會社ガ設立サレマシテ、社長ニナル人、重役ニナル人ガ定マリマシタナラバ、サウ云フ方面ノ人ト能ク協議シタ上デ名前ヲ附ケタイト思ッテ居リマス、餘リニ役人ガ唯一方ノ頭デ以テ、往々獨斷的ニ附ケテ失敗スルコトガアリマスモノデスカラ、サウ云フコトニ付テハ餘程考慮シタイト斯ウ思ッテ居リマス

○大谷尊由君 此ノ名前ト云フモノハ大變大切ト思ヒマスシ、下ラヌ名前ノ爲ニ日伯ノ間ニ誤解ヲ生ズルコトガアツタリ、又日本人ノ中ニモ誤解ヲ生ズルト面白クアリマセヌカラ、此ノ名稱ニ付テハ十分ニ御慎重ナル考慮ノ上デ、御附ケ下サルコトヲ希望致シテ置キマス、私ハ是レ位ナコトニ致シマシテ、モウ別ニ是レ以上御尋ネ申上ゲルコトハアリマセヌ

○男爵松岡均平君 此ノ第一條デスガ、「移住地ノ經營ヲ行フコトヲ目的トシテ設立セラル、株式會社ニ對スル現物出資ニ充ツル

コトヲ得」ト云フノデスネ、是ハ設立ニ對シテハ法律案デモ御出シニナルノデスカ、ドウ云フコトニナルノデスカ

○政府委員(安井誠一郎君) 設立致シマスル爲ニ、別ニ法律案ハ出サナイ積リデ居リマス、詰リ只今大谷サンカラ御意見ガアリマシタヤウニ、本來申シマスト特殊會社法トシテノ法律案ヲ出シテ、ハッキリ何々會社法案デ御審議ヲ戴クノガ當然デアルヤウニ考ヘマスガ……

○男爵松岡均平君 此ハ此處ニ居リマセヌデ、大谷サンノ御質問ヲ承ハラナカッタノデスガ……

○政府委員(安井誠一郎君) ソレハ只今ノ「ブラジル」トノ國交關係等ヲ考慮致シマシテ……

○男爵松岡均平君 是デ別ニ法律ノ上デ差支アリマセヌカ

○政府委員(安井誠一郎君) 其ノ點ニ付キマシテハ司法省、大藏省等トソレ／＼打合せヲ致シマシタ

○子爵保科正昭君 此ガ「ブラジル」ニ參リマシタノハ十年モ前ノコトデスカラ、私ノ質問ガ甚ダ今日ノ時勢ニ副ハナイ所ガアルカモ知レマセヌガ、若シサウ云フ所ガアツタラ御正シヲ願ヒタイ、「サンパウロ」州其ノ

他ノ州ニ參リマス、移住シテ居リマス人

ガ移住組合團體ト申シマスカ、色々ゴザイマシテ、海興カラノ移民モアリマスシ、縣カラノ移民モアリマスシ、又其ノ他ノ記念事業團體等カラ移民ヲ募集シテ渡航サセルト云フヤウナ、移民群ト云フモノガ方々ニ出来テ居ル、其ノ間ニ於テ自ラ地方ノ特別ガアリ、又渡航シタ年度ノ關係デ、或團體ハ非常ニ成績ガ好イガ、或團體ハ非常ニ成績ガ惡イ、其ノ原因ハ色々アリマセウケレドモ、是ハ此處デ申上ゲルコトヲ控ヘテ置キマスガ、兎ニ角成績ノ好イ團體モアリ、又成績ノ惡イ團體モ出来テ居ルヤウニ見受ケタノデアリマス、ソコデ今度此ノ會社ガ創立シマシタ以上ハ、過去ニ於ケル海興ノ移民トカ、何ノ移民トカ云フ名前ヲ付ケタ移民、又ハ年度ノ違フ移民團ヲ、解散スル必要……ト云ッタラカシイデスガ、此ノ會社ノ下ニ總テ公平ニ扱ッテ、行ッテ居ル日本人ニ利益ヲ均霑スルヤウニ、取計フコトガ出来ナイモノデスカ、ソコヲ第一ニ伺ヒタイ

○政府委員(安井誠一郎君) 此ノ法案ノ下ニ差當ッテ扱ヒタイト考ヘテ居リマスモノハ、移住組合聯合會ガ現在關係シテ、事業ヲ經營シテ居リマス其ノ「ブラジル」ノ事業

經營デゴザイマス、從ヒマシテ、他ノ「アマゾニヤ」産業デアルトカ、海興デアルトカ云フヤウナ事業ニハ、目下ノ所ハ關係ヲ致シマスル案デハゴザイマセス、併シナガラ之ヲ運營ヲ致シテ行キマス將來ニ於キマシテ、只今御意見ノゴザイマシタヤウナ點ニ十分考慮ヲ致シマシテ、各般ノ事業ニ便宜ヲ圖ッテ、全般的ニ發展ヲシテ行クヤウニ、指導ヲシテ行キタイト云フ心持ハ十分持ッテ居リマス

○子爵保科正昭君 之ニ關聯シマシテモウ一ツ伺ヒタイトノデスガ、是ハ例ヲ以テ申上ゲタ方ガ便利ト思ヒマスガ、小學校建設ノ問題、其ノ小學校ノ先生ト云フヤウナ者ヲ心配シテ貰フト云フノニ、此ノ會社ハソレ等ノ面倒マデモ見テ下サルノデスカ、別ノ移住地ニ於テモ同ジヤウニ公平ニヤッテ下サルコトガ出來ルノデスカ、是ハ例ヲ申上ゲタノデスガ、醫者ノ問題モ亦同様デス

○政府委員(岡本孝正君) 小學校ノ補助ニ付キマシテハ大體「サンパウロ」ノ總領事ニ於テ統一のニ之ヲ取扱ッテ居リマス、各移住地カラ具體的ニ申上ゲマス、今「ブラジル」ニハ小學校ノ數ガ四百四十八ゴザイマス、サウシテ之ニ就學シテ居リマス生徒ノ

數ガ一萬八千七百八十一人ト云フヤウナコトニナッテ居リマスガ、是ハ各地別ニ、是ダケノ小學校ガアッテ、是ダケノ經費ガ要リマスカラ、是ダケ補助シテ貰ヒタイト云フコトヲ申請シテ來マシテ、ソレヲ「サンパウロ」ノ總領事館デ集メマシテ、更ニ外務省ノ方ニ毎年申シテ來ルノデアリマス、ソレニ基キマシテ大體公平ニ維持費ナラ維持費ノ何割、建築ヲ致シマス時ニハ建築費ノ何割ヲ補助スルト云フヤウナ、公平ナ率ニ依リマシテ、一般的ニ之ヲ取扱ッテ居ル次第デゴザイマス

○子爵保科正昭君 ソレカラ今度第二問デゴザイマスガ、二問ハ移民ヲ送りマスノニ、往々初メテ外國ヘ行ク移民ニハ相當訓練ヲ與ヘテ、神戸其ノ他カラ出港サセテ居ルノデセウケレドモ、船内其ノ他目的地ニ到着シテカラ、種々ノ困難ガアルヤウニ見受ケルノデアリマス、ソレバカリデナク、船中ノヤウナ長イ間多數ノ移民ノ輻湊シテ居リマス時ナドニハ、隨分其ノ間ノ監督其ノ他統制ト云フ言葉ヲ使ッテドウカ知リマセスガ、詰リ監督世話等ガナカノ「屈カナイヤウ」ニ見受ケタノデスガ、其ノ邊ハ今日ノ所デハドウ云フコトニシテ、先方ノ移民地、居住地ニ送り込ムヤウナ便宜ヲ取ッテ居

ラレマス、簡單ニチヨット御答ヲ願ヒタイノデゴザイマス

○政府委員(安井誠一郎君) アチラヘ參リマス移民ヲ神戸ニ於キマシテ、移民教養所ヲ設置致シテ居リマスカラ、此ノ移民教養所ニ於キマシテ一週間乃至十日間位ノ間、極ク大體ノ常識ノ教養並ニ衛生的ナ指導ヲ致シマスルコトハ、先程御言葉ノ通りデアリマス、サウ致シマシタ移民ガ向フヘ、神戸ヲ船デ立チマスル場合ニ於キマシテハ、只今ハ監督指導員ヲ數名船ニ乗リ込マセマシテ、船ノ中ノ生活ノ指導、衛生ノ指導ヲ兼ネナガラ、船ノ中デ同様ニ外國ノ生活及「ブラジル」ノ一般的ナ、常識ニ關スル教養ヲシツ、向フヘ參ルコトニナッテ居リマス、向フヘ參リマス、向フニコチカラ派遣致シテアリマスル組合員ガ居リマスカラ、是ガソレノ土地ニ案内ヲシ、指導ヲシテ入レルヤウナ手續ニ致シテ居リマス

○委員長(公爵島津忠承君) 御諮リ致シマス、大臣ノ來ラレルマデ暫時休憩致シタイト存ジマス、御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵島津忠承君) 御異議ナシト認メマス、休憩致シマス

午後四時四十五分休憩

午後五時十四分開會

○委員長(公爵島津忠承君) 是ヨリ委員會ヲ開キマス、大臣ハ御都合デマダ本委員會ニ御出席ガアリマセスガ、御質疑ヲ願ヒタイト存ジマス……御質疑ガナケレバ是ヨリ討論ニ入りタイト存ジマス、御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵島津忠承君) 御異議ナシト認メマス

○男爵松岡均平君 私ハ本案ニ賛成ヲ致ス者デゴザイマス、唯此ノ本案ヲ實施スルニ當リマシテ、當局者ニ十分ノ御注意ヲ仰ギタイト思ヒマス點ハ、即チ國際間ノ誤解ヲ生ジナイヤウニ、萬遺憾ナキ御手筈ヲ御願ヒ致シタイト思フノデアリマス、勿論本案ノ内容ハ明カニ現在行ハレテ居ル所ノモノヲ、其ノ儘ニ繼續スルト云フ以外ニ、何等新シイ新味ガナイモノト言ッテモ宜イノデアリマス、少シモ現狀ト變タ所ハナイ譯デアリマスケレドモ、政府ノ出資ト云フヤウナ點ニ付テ、思ヒモ寄ラナイ所ノ誤解ガ生ズル處ガナイトモ申サレマセスカ、此ノ點ニ付テ十分御注意ヲ仰ギタイト思フノデアリマス、唯私ノ遺憾ト思ヒマスノハ、總理大臣ニ御出席ヲ仰イデ、植民事業及海外發

展、殊ニ南米ノ問題ニ付テ申上ゲタイト思ッ
テ居リマシタノデスガ、御出席ガナイト云フ
コトデアリマスガ、是ハ政局ノ實情已ムヲ得ナ
イコトデアリマスガ、唯私ノ御出席ヲ願ヒ
タイト思ヒマシタ點ハ、南米問題ニ付テ甚ダ
獨斷的デアリマススケレドモ、我ガ民族ノ發
展地トシテ南米ガ最モ理想的ナモノデア
ル、而シテ、我ガ國ノ最モ緊急ナコトハ、即チ海
外進出ト云フコトデアルト云フ點ニ付テ、
格段ニ總理大臣トシテ御配慮ヲ願フベキ點
ガ多々アリマスルノデ、屢、歷代ノ總理大臣
ニ此ノ點ヲ個人的ニ御話ヲ致シタノデア
リマス、其ノ時ニハ何レモ尤モデア
ル、サウ云フ風ニスル積リデアルト云フヤウナ御返
事ヲ得テ居ルノデアリマススケレドモ、遂ニ
何レノ内閣ニ於テモ私昔ノ懷イテ居リマス
ル理想ガ實現サレテ居ラナイノデアリマス、
故ニ本日ハ殊更總理大臣ガ御多用中ニモ拘
ラズ殊ニ此處ニ御出席ヲ得マシテ、公ノ會
合ノ席上ニ於テ、御返事ヲ得テ置キタイト
存ジタノデアリマスルガ、今申シタヤウナ
コトデ御出席ガナイノハ是ハ如何トモ已ム
ヲ得ナイコトデアリマス、又大藏大臣モ御
出席ヲ得マシテ、總理大臣ヘノ傳言ナリ、
又大藏大臣ニ對シテ、私ガ大藏大臣ト申シ
マスノハ、兼任ノ拓務大臣トシテノコトデ

アリマスルガ、結城サンニ又私カラ申上ゲ
タイト思フコトガアツタノデアリマスルガ、
是モ今申シタヤウナ同ジ事情ノ下ニ於テ、
御出席ヲ得マセヌノハ遺憾デアリマス、何
レカノ機會ニ於テ此ノ點ハ御耳ニ入レタイ
ト思ッテ居リマス、贊成ノ趣旨ハ別ニ長々シ
ク申上ゲルコトモゴザイマセヌ、劈頭ニ申
上ゲタ通りデ十分ダト思ヒマス、本案ニ贊
意ヲ表スル者デゴザイマス
○大谷尊由君 私此ノ法律案ノ趣旨ヲ承リ
マシテ大變結構ニ存ジマス、全然原案ニ贊
成致シマス
○子爵白川資長君 私モ贊成致シマス
○委員長(公爵島津忠承君) ソレデハ是ニ
テ討議ヲ終リマシテ、採決ヲ致シタイト存
ジマス、御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○委員長(公爵島津忠承君) 御異議ナシト
認メマス、本法律案ヲ可決致シマスコトニ
御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○委員長(公爵島津忠承君) 御異議ナシト
認メマス、本法律案ハ可決相成リマシタ、
是ニテ散會致シマス
午後五時十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵島津 忠承君
副委員長 子爵保科 正昭君
委員 子爵白川 資長君
男爵松岡 均平君
男爵松田 正之君
各務 鎌吉君
平沼 亮三君
岩崎 清行君
大谷 尊由君

國務大臣 大藏大臣兼拓務大臣 結城豐太郎君

政府委員 外務省亞米利加局長 岡本 季正君

拓務次官 入江 海平君
拓務省管理局長 植場 鐵三君
拓務省拓務局長 安井誠一郎君
拓務書記官 副島 勝君
拓務書記官 武田 寛一君